

いきいき弥小っ子



がんばる！～マラソン大会に向けて～

弥彦小学校 校長 石黒 和仁

9月30日に行う校内マラソン大会に向けた練習が始まっています。残暑厳しい中、体育の授業や休み時間の「体力マルモリマラソンタイム」で、子どもたちはがんばって走っています。



「がんばる」ことは必要

一時、「がんばれ」と言わない（言ってはならない）子育てや教育が提唱されたこともあったように覚えていますが、がんばることは必要だと考えます。例えば、体育では、全ての子どもが運動・スポーツに慣れ親しみ、楽しさを味わうために工夫し、「がんばらなくてもできる」授業が求められています。ところが、いくら工夫したとしても、多かれ少なかれ、子どもががんばらなければならないこと、がんばらなくてはならない場面はあります。このことは、学校生活や家庭生活の中でも同様です。

当校が取り組む「マラソン」は、体育における体づくり運動系のかけ足や持久走にあたります(*)。「無理のない速さで数分間走ること」が内容であり、楽しさです。そして、その発展として、タイムや順位といった達成や競争の楽しさを味わうことができます。自分にあったペースで走り切ることやタイムを縮めること、順位を上げようとする中で、それぞれの楽しさが得られます。そのためには、「がんばる」ことは不可欠です。

マラソン大会に向けて、子どもたちにはがんばってほしいです。そのためにも、適度に、適切にがんばらせたいと思っています(**)。

*：陸上運動系ではありません。関わって、今年度は距離を見直しました。

**：特に、もっている力より遅いペースで走っている子ども、友だちとおしゃべりしながら走っている子どもには、がんばらせます。なお、がんばった後は、エアコンが効いた教室で休むようにしています。

読書のすすめ～読み聞かせ・全国学力・学習状況調査から～

9月から11月にかけて、各学級に2～5回、「やひこえほんの会」の皆様から朝の読み聞かせを行っていただいています。子どもたちは食い入るように絵本を見て、聞き入っています。読書の魅力に触れ、読書への関心・意欲の向上につながることを期待しています。

ところが、6年生を対象に実施した全国学力・学習状況調査の児童質問紙の結果から、読書に関するマイナスの傾向が分かりました。



Q：読書は好きですか？

A：はい 弥彦小：48.2%（全国：75.0%）

Q：学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか？（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）

A：まったくしない 弥彦小：41.5%（全国：18.7%）

Q：昼休みや放課後、学校が休みの日に、本（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）を読んだり、借りたりするために、学校図書館や地域の図書館にどれくらい行きますか？

A：ほとんどいかない 弥彦小：46.2%（全国：29.9%）

この結果は、全校的な問題と受け止めています。読書は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにしてくれます。全国学力・学習状況調査からは、読書好きの子ども、読書時間の長い子どもは、国語・算数の教科学力が高いという結果も出ています。

幼少期がカギです。学校でも様々な取組を行いますが、ご家庭でも、手に取りやすいところに本を置く、読み聞かせる、親子で読書をする、書店や図書館に連れて行くなど、取組をお願いします。また、ゲームやテレビ、動画等についても、ご家庭でのルール決めと徹底をお願いします。

学校諸費 口座振替手数料の値上がりについて（お知らせ）

10月1日からの増税に伴い、農協・県信の口座振替手数料が1円値上がりいたします。ご承知おきください。

金融機関	口座振替手数料（1回あたり）	
	9月30日まで	10月1日から
農協 弥彦支店	32円	33円
県信 弥彦支店		
ゆうちょ銀行	10円（変更なし）	

※農協・県信の口座振替手数料は、1回あたり「30円＋消費税」という契約のため

（文責 校長 石黒和仁）